

福井県JAバンクにおける 地域密着型金融の取組状況（令和4年度）

福井県JAバンク（福井県下JAと福井県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、令和4年度～令和6年度福井県JAバンク中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

令和4年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

福井県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

福井県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

令和5年3月末時点の福井県JAバンクの農業関係資金残高^(注1)は6,247百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は2,456百万円を取扱っています。

(注)1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 福井県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

	令和5年3月末現在
農業	6,247
穀作	3,597
野菜・園芸	655
果樹・樹園農業	150
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	91
養鶏・鶏卵	58
養蚕	0
その他農業 ^(注3)	1,696
農業関連団体等 ^(注4)	0
合計	6,247

(注)

3 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

4 「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	令和5年3月末現在
プロパー農業資金 (注5)	4,600
農業制度資金 (注6)	1,647
農業近代化資金	1,565
その他制度資金 (注7)	82
合 計	6,247

(注)

- 5 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 6 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を福井県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで福井県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。
- 7 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

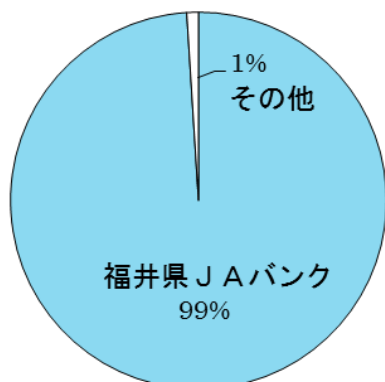
種 類	令和5年3月末現在
日本政策金融公庫資金 (注8)	2,456
そ の 他	0
合 計	2,456

(注)

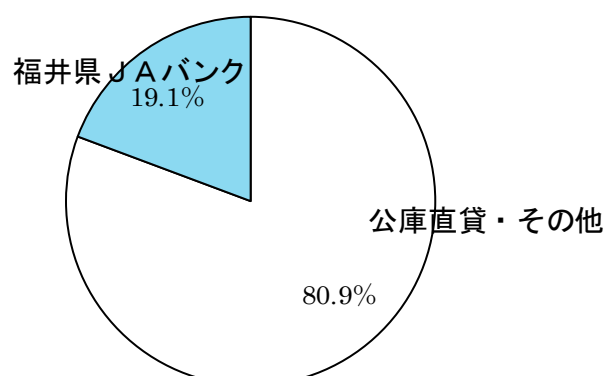
- 8 福井県JAバンクを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

福井県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金取扱いシェア
(令和5年3月末時点)
出所：福井県信連調べ



公庫農業資金取扱いシェア
(令和5年3月末時点)
出所：日本政策金融公庫
業務統計年報



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

福井県 J Aバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、令和4年度末時点で福井県 J Aバンクにて9名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は令和5年3月末時点で県内に73名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズに J Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例

J A福井県：営農部署と信用部署による連携会議を開催している。

農業者へ T A C と支店の融資担当者が同行訪問し、融資の相談、提案を行った。

J A越前たけふ：融資担当および営農指導員が同行訪問し、組合員のニーズ調査を行っている。

※ T A C・・・「地域農業の担い手に出向く J A担当者」の愛称を単協・連合会が一体（チーム）となって地域農業をコーディネートするという意味をもつ「Team for Agriculture Coordination」の頭文字をとったもの。

(4) 農業メインバンク C S 調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンク C S 調査）を行っています。また、得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

具体的取組事例

J A福井県：訪問により、より細かいニーズの把握に努めた。

J A越前たけふ：融資担当者会議において、報告・ディスカッションすると同時に組合員との関係を希薄化することなくアプローチ訪問を行った。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

福井県JAバンクは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

福井県JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

	令和4年度 実行件数	令和4年度 実行金額	令和5年3月末 残高
青年等就農資金	11	62	338
就農支援資金	—	—	1
農業近代化資金	1	11	1,565
地域農業応援資金	1	6	3,784
合計	13	79	5,688

(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援（商談会・ビジネスマッチング）

福井県JAバンクは、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の掛け橋」として多様な機能を発揮しています。

【令和4年度 ビジネスマッチング状況】

内容
販路拡大のためのビジネスマッチングにおいて、福井県信連取引先の商品（イカしゅうまい）が海外商社向けサンプル輸出の“umamill”との間で成約した。

(3) 福井県JAバンクの講演会・セミナー等の開催・参画

福井県JAバンクでは、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ファンドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【令和4年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・ セミナー名	開催日	主催者	対象 参加者	参加者数	内容
令和4年度 アグリネット福井 セミナー	令和4年 12月16日	アグリネット 福井 (事務局： 福井県信連)	会員	14名	題目：事業継承（農業者や 集約営農組織のM&Aの事 例から）
アグリネット福井 第4回通常総会	令和5年 3月1日	アグリネット 福井 (事務局： 福井県信連)	会員	17名	題目：労務管理（社労士が 解説するやさしい農業の労 務管理）

(4) 災害等の被害を受けた方への支援

福井県JAバンクでは、新型コロナウイルスによる影響を受けた皆様を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

また、生産資材の高騰を受けた方々への資金対応をするなど、担い手に対する経営支援に取り組んでいます。

単位 件、百万円

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
価格低迷・資材高騰対策による資金対応	JA福井県	各支店にてウクライナ情勢による農業生産資材の価格高騰への対策として、JAバンクからの利子補給を受け、低金利の資金で対応しました。	33	127
新型コロナ感染症に対する資金対応		各支店にて新型コロナウイルス感染症に伴う所得補填資金として、JAバンクからの利子補給を受け、低金利の資金で対応しました。		
価格低迷・資材高騰対策による資金対応	JA越前たけふ	昨今の農業生産資材の価格高騰への対策として、JAグループおよび福井県からの利子助成による低利資金を創設しました。	1	3

(5) 経営不振農家の経営改善支援

福井県JAバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【令和4年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		0	0		0	0.0%	
要注意先	うち その他要注意先②	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	うち 要管理先③	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先④		0	0	0	0	0.0%	0.0%
実質破綻先⑤		1	1	0	1	100.0%	0.0%
破綻先⑥		0	0	0	0	0.0%	0.0%
小計 (②～⑥の計)		1	1	0	1	100.0%	0.0%
合計		1	1	0	1	100.0%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は令和5年3月末時点のものです。

- 3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、二に手に適した資金供給手法の徹底
 福井県 J Aバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による経営支援

福井県 J Aバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取扱っています。

【令和4年度 負債整理資金の貸出実績】 単位 件、百万円

資金名	令和4年度 実行件数	令和4年度 実行金額	令和5年3月末 残高
農業負担軽減支援資金	1	3	3
畜産特別資金	—	—	—
その他	—	—	—
合計	1	3	3

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

福井県 J Aバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

福井県 J Aバンクは、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、令和4年度には県下の小学校 189 校へ約 6,500 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、福井県 J Aバンクでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A 名	活 動 名	活 動 内 容
J A 福井県	学校教育田	小学生に田植えや稲刈りの体験をしてもらいました。
	環境美化活動	本店、支店周辺のゴミ拾いを実施しました。
	里芋の種芋植え体験	「食育活動」の一環として、小学生を対象に、営農指導員が里芋の定植方法や生育について説明を行ったうえで、定植体験をしてもらいました。
	ラッカセイ種まき・苗定植体験	製菓果専門学校生徒を対象に、営農指導員がラッカセイの栽培方法や苗の植え方、播種方法について説明を行ったうえで、定植作業体験等をしてもらいました。 また、収穫作業も体験してもらい、生徒それぞれがオリジナルスイーツを製作、学園祭の中での販売を行い、地元農産物の地産地消について学んでもらいました。
	ふくいアグリ音楽祭	「SDG s プログラム」の一環で、地元ラジオ局と連携した食農教育イベントとして、地元の生徒・学生を主役とした「ふくいアグリ音楽祭」を開催しました。 本活動は、地域の「農・商・工」連携を強化し、地域の青少年育成を支援することで地域貢献を目指すとともに、生産者から消費者までを繋ぐことを目的としています。 演奏後には、J A職員による地域農産物の紹介や農産物等のプレゼントも行い、農業への理解を深めていただきました。
	ジュニアあぐりスクール	子どもたちに農業体験を通じて土に親しみ、自分で育てる楽しさ、食物を美味しくいただく大切さを学んでもらうことを目的に、イチゴ栽培体験をしていただきました。
	食農教育紙芝居コンクール	(一社)家の光協会主催の「第13回家の光食農教育紙芝居コンクール」にて、当県から最優秀賞作品が選ばれました。 本作品は「食べ物を大切に作る心を育ててほしい」という思いが込められており、作品は「家の光公募サイト」から無料でダウンロードできます。
	いちほまれ贈呈	県内の児童養護施設に、福井県のブランド米「いちほまれ」を贈呈しました。 本取組みは、地産地消の推進、地域の未来を担う子供たちの成長を願い、地域貢献活動の一環として実施いたしました。

以上